正の数と負の数 [数直線と絶対値]

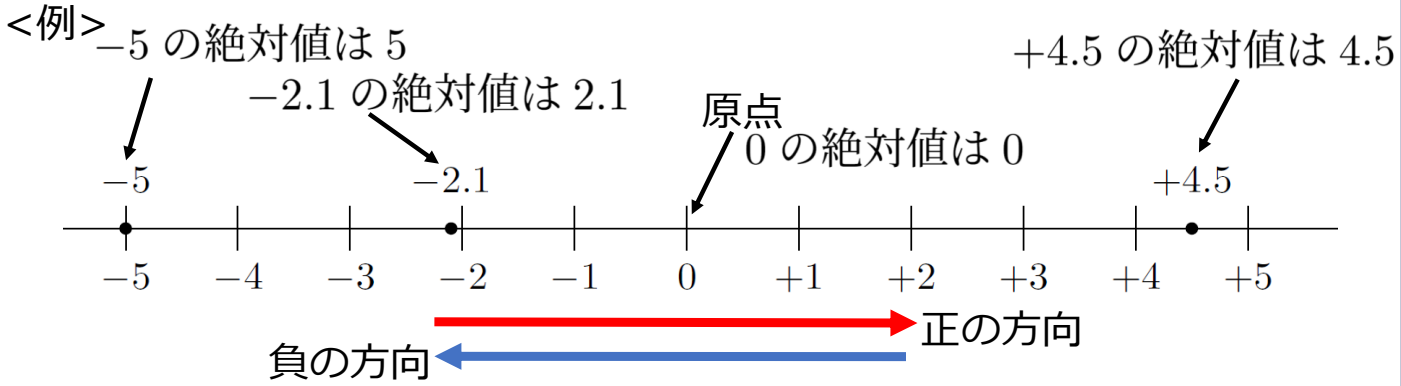
数直線と絶対値

数直線上の表現

・正の数と負の数は1つの数直線上に表すことができる
-0を表す点を**原点**
-数が大きくなる方向が正の向き(下図の右方向)
-数が小さくなる方向が負の向き(下図の左方向)

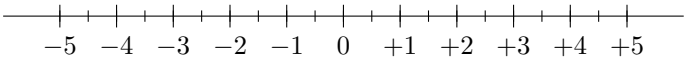
・**絶対値**
-数直線上で、ある数と原点との距離を、その数の絶対値という
-符号を無視した非負の値、0からどれくらい離れているか

<例>



＜確認問題＞
次の数を表す点を、下の数直線に示せ。

(1)　+4.5
(2)　0
(3)　−4
(4)　−2.5
(5)　1
(6)　+2



＜確認問題＞
次の数を答えよ。

(1)　絶対値が 8 である数

(2)　絶対値が 1.5 である数

(3)　+3.2 と絶対値が等しい数

(4)　−4.7 と絶対値が等しい数

(5)　絶対値が 2 より小さい整数

(6)　絶対値が 3 より小さい自然数

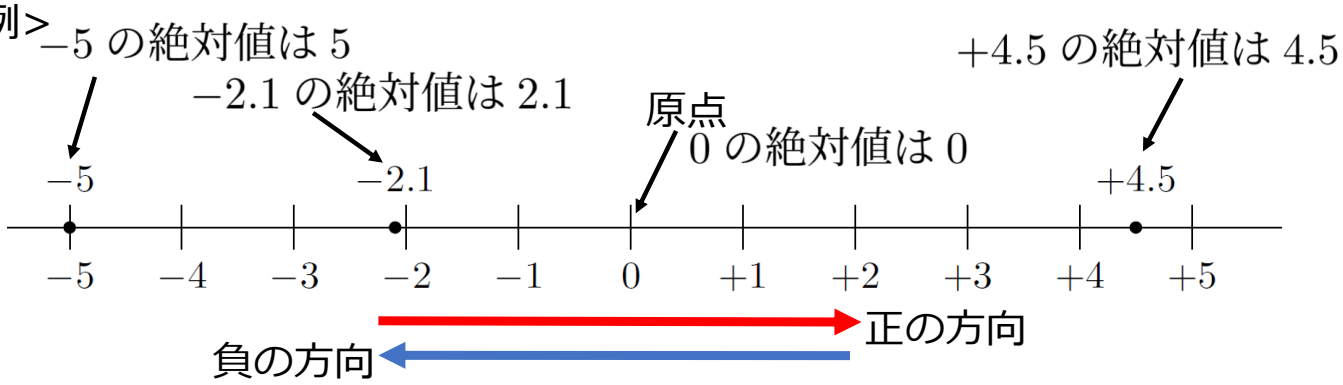
数直線と絶対値

数直線上の表現

・正の数と負の数は1つの数直線上に表すことができる
-0を表す点を**原点**
-数が大きくなる方向が正の向き(下図の右方向)
-数が小さくなる方向が負の向き(下図の左方向)

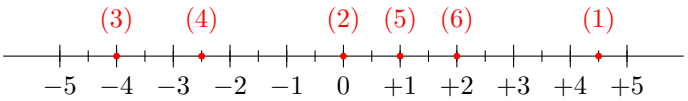
・**絶対値**
-数直線上で、ある数と原点との距離を、その数の絶対値という
-符号を無視した非負の値、0からどれくらい離れているか

<例>



＜確認問題＞
次の数を表す点を、下の数直線に示せ。

(1)　+4.5
(2)　0
(3)　−4
(4)　−2.5
(5)　1
(6)　+2



＜確認問題＞
次の数を答えよ。

(1)　絶対値が 8 である数
+8, −8

(2)　絶対値が 1.5 である数
+1.5, −1.5

(3)　+3.2 と絶対値が等しい数
−3.2

(4)　−4.7 と絶対値が等しい数
+4.7

(5)　絶対値が 2 より小さい整数
−1, 0, +1

(6)　絶対値が 3 より小さい自然数
1, 2